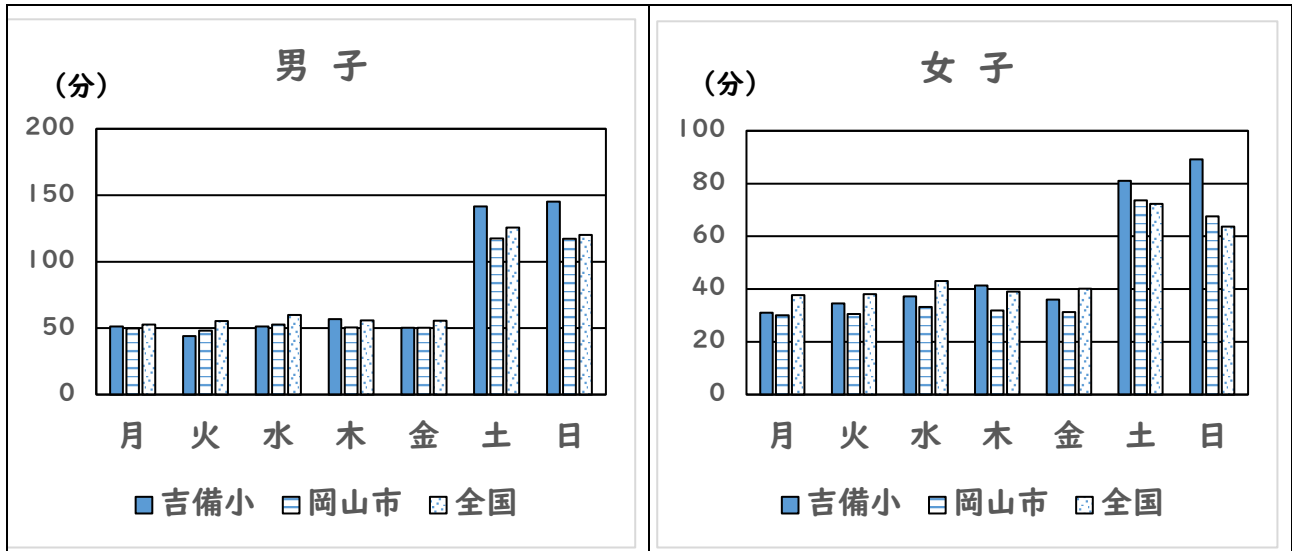


もっと遠くに「運動だんご」でチャレンジ！

学校名	岡山市立吉備小学校		校長名	高山 学	
児童生徒数	1 2 9 9 人	学級数	4 7	教職員数	8 6 人

< 体育の授業以外の運動やスポーツの時間（曜日別） >
 （令和3年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査から）



1 児童生徒の実態

本校の児童は、休み時間に運動場に出てドッジボールやドッジビー、遊具遊びなどを行っている児童や、放課後や休日に地域の運動クラブに所属するなどして日頃から運動に取り組んでいる児童が多い。一方で、休み時間になっても運動場にあまり出ず教室や図書館で過ごすなど、運動習慣が定着していない児童がいたり、今年度からプレハブ教室建設工事が始まったことで運動場が狭くなり、運動場で遊べる時間を制限したことで外遊びの時間が減ったりしてしまっている。

全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果からも、1週間の総運動時間が60分未満の児童の割合が全国に比べて高くなっている。また、新体力テストの結果からも、全国平均を上回っている種目が少なく、特にソフトボール投げの結果が低い傾向にある。

2 取組の概要

新体力テストの結果を受けて、投能力の向上を目指しつつ運動習慣の定着化を図るための取り組みを行った。

まずは、運動したいという思いをもつことができるようにジャベリックボール投げを行い、もっと遠くにきれいな音が出るように投げたいという思いをもてるようにした。また、投動作を取り入れた遊びで楽しさを味わうことができるように、新聞紙で紙鉄砲を作って鳴らしたり、ペーパージャイロを作って投げたりする活動を行った。

冬休みには、なわとびカードだけでなく、紙鉄砲を鳴らしたりペーパージャイロを投げたりするなど、家庭でもできる運動を入れた「運動だんごカード」を配布した。「運動だんごカード」のマスの一つは、自分で考えた運動を取り入れることにした。



運動だんごカード



ジャベリックボール



紙鉄砲



ペーパージャイロ

3 成果

期間中、多くの児童が意欲的に「運動だんごカード」に取り組むことができていた。取り上げた運動が短時間で簡単に行える運動であったり、「もっと大きな音で紙鉄砲を鳴らしたい」「ペーパージャイロをもっときれいに飛ばしたい」など、目標をもって何度も取り組むことができる運動であったりしたことが運動への意欲を高めていたように思う。

また、「次はいつジャベリックボールを投げられる?」「『運動だんごカード』を頑張ったから今度はこの前より大きな音で遠くに投げれそう」など、ジャベリックボール投げの活動を行ったことも運動に取り組む動機づけの一つになっていた。

4 課題・今後の取組に向けて

今年度は5年生を対象に取り組みを行ったが、得られた成果をもとに来年度以降は対象学年を広げていき、学校全体で運動習慣の定着化を図っていきたいと思う。また、今回は投の運動の取り組みを行ったが、投の運動以外の「運動だんごカード」にも取り組んだり、委員会活動と連携して運動に取り組む児童が増えるような取り組みを行ったりしていきたいと思う。